

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取県立米子高等学校

重点項目	アクティブ・ラーニング推進	提出日	令和3年5月10日
------	---------------	-----	-----------

1 学校目標	
○豊かな学力の育成	・学力の向上 ・思考力、判断力、表現力の更なる向上
○豊かな人間性の育成	・基本的生活習慣の定着 ・生徒の主体的活動の推進 (国際交流、環境保全活動、部活動)
○地域との連携による学校づくり	・地域のニーズに応じた地域貢献 ・積極的な社会参画と情報発信
○自己実現のための進路指導の充実	・キャリア教育の発展 ・進路指導の充実
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
①組織的、計画的にアクティブ・ラーニングで授業改善を推進する ②系列の特色化と資格取得を促進する ③テーマ学習を進化させ課題解決能力を高める ④ICT機器利活用の推進 (活用する教員の推進) <数値目標> ①-1 各教科年間1回アクティブ・ラーニングを主題とした校内授業研究会開催 ①-2 大学合格者数 25人 ②-1 資格取得 (ビジネス文書実務検定1級・秘書技能検定2級・簿記実務検定2級・保育技術検定1級) は合格者が受験者の50% ②-2 実用英語技能検定2級の受験を促進し合格者を増やす ③テーマ学習での生徒の自己評価アンケート項目 「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「創造力」「発信力」「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」「規律性」「ストレスコントロール力」における評価が、事前から事後で5段階の平均値が0.4ポイント以上伸長する ④教員の授業タブレット活用率 80%	<数値結果> ①-1 100% ①-2 大学合格者数16人 ②-1 66.1% ②-2 33% ③ 0.4% ④ 60.5%
3 実施事業	
【高等学校課事業】 ▶未来を創造する「思考力・判断力・表現力」育成事業 ・アクティブ・ラーニング推進のための講師派遣事業→リモートで島根大学教授より指導助言いただき、公開授業研究会を開催 ・生徒の「思考力・判断力・表現力」の強化のためのハイレベル講座は高知大学教授より講演を実施。 ▶エキスパート教員認定事業→エキスパート教員の研究授業による授業力向上 (3名) ▶ICT活用推進事業→ICT活用による授業改善 (Google Classroom の活用推進) ▶ふるさとキャリア教育充実事業 ・「ようこそ高校へ」版キャリア塾→卒業生や県内有識者・県外大学教授等による講演会を実施 ▶外部人材活用事業 ・社会人講師活用事業→専門家による教科指導を行い、生徒の学習意欲の向上と職業観、勤労観の育成 【独自事業】 ○系列事業 ▶英語多読指導 ▶家庭・福祉 (施設等実習) ▶野外活動 (ゴルフ・カヌー・乗馬・スキー実習) ○国際交流 ▶セント・トーマス・アクワイナス高校交流 (中止) ▶韓国造形芸術高校交流 (中止) ○産社・テーマ ▶テーマ学習の充実 ▶産業社会と人間 ▶学習成果発表会 (米子コンベンションセンターで実施) ○進路指導充実 ▶マナー講習会 ▶看護の職場体験 ▶進路指導資料の充実・進路講演会 ○指導力向上 ▶教員研修・大学等訪問 ▶コーチングスキル講習会 ▶新テスト対応 (コロナ対策で中止) ○手話交流 ▶特別支援学校交流 (手話ボランティア参加) リモート交流実施 ○中高連携 ▶アクティブ・ラーニング中学校出前講座 (コロナ対策で中止)	
4 総合所見 (成果・評価)	
・コロナ禍で、リモートで開催する事業が多くなったが、Google Classroom の活用を推進することができた。 ・岡山県の高等学校と遠隔合同授業を取組むことができた。また、公開授業研究会はリモートで県外講師の指導助言をいただき、新たな取り組みで実施できた。Find アクティブラーナーの活用を更に推進したい。 ・資格取得、大学合格者は、受験者数を増やし、継続した指導が課題である。	